

★海外規制(PPWR)と国内動向を踏まえた医薬品包装の次世代設計と材料戦略

セミナーNo.606205

★非吸着・低溶出・安全性と環境性能を両立、「捨てられない包装」から「循環する包装」へ

～モノマテリアル化、バイオマス材料の利用、易開封、マテリアルリサイクルなど～



PTPを中心とした「医薬品包装」の低環境負荷と安全性試験

●日 時:2026年6月11日(木) 9:30～16:20

●聴講料:1名につき 66,000円(消費税込み、資料付)

●会 場: [Zoomを使用したLive配信セミナーです。] [1社2名以上同時申込の場合のみ1名につき60,500円(税込)]
勤務先やご自宅のパソコンでご視聴ください。 [大学、公的機関、医療機関の方には割引制度(アカデミック価格)があります。]

1. 「医薬品包装」の最近の動き ～「低環境負荷」に向けた流れを含めて～

[9:30～10:50]

住本技術士事務所 所長 技術士(経営工学) 住本 充弘 氏

- PPWRの輸出向けの医薬品包装への影響
1.1 PPWRとは 1.2 医薬品包装への影響 1.3 海外医薬品メーカーの対応事例
- 改正資源有効利用促進法
2.1 医薬品包装は除外だが 2.2 今後の影響の可能性
- Certified recycled plasticsの利用
3.1 医薬品包装への利用 3.2 海外の事例
- 使用済みの医薬品包材の処理
4.1 海外の動き 4.2 国内の動き 【質疑応答】

2. PTP・パウチなどの環境対応と高機能化: モノマテ・バイオマス化と易開封の実際

[11:00～12:00]

ZACROS(株) 研究所 製品開発1部 樹脂機能開発G 鈴木 潤 氏

- 軟包装の高機能化技術
1.1 押出ラミネート技術 1.2 ドライラミネート技術
1.3 共押出技術 1.4 易開封性付与技術
- 医薬品包装に必要な機能と特徴的な包装技術
2.1 医薬医療包装に求められる機能 2.2 製造環境の重要性
2.3 非吸着・低溶出の重要性 2.4 特殊樹脂NI材料を用いた医薬品包装
- 環境配慮に関する法規制動向
3.1 日本国内の動向 3.2 米国・欧州の動向
- 環境配慮への取組み事例
4.1 モノマテリアル化 4.2 バイオマスPTP
4.3 脱墨・剥離技術 【質疑応答】

3. 医薬品包装における資源循環の実装と PTPシート・マテリアルリサイクルの実際

[13:00～14:00]

松田産業(株) 環境ソリューション事業部 企画推進部 亀井 和寛 氏

- 医薬品包装を取り巻く環境変化とリサイクルの必要性
1.1 国内外におけるプラスチック資源循環の法規制動向(プラ新法等)
1.2 日本製薬団体連合会(日薬連)の目標と業界の危機感
1.3 大手製薬企業における脱炭素・CE(循環経済)への取り組み事例
- PTPシートリサイクルにおける技術的障壁と品質への要求水準
2.1 PTPシートの材質構成とリサイクルを困難にさせていた要因
2.2 PVCおよびPPそれぞれのマテリアルリサイクルにおける課題

2.3 PTPリサイクルを妨げる医薬品特有の課題(異物・錠剤混入と改善事例)

3. PTPマテリアルリサイクル・スキームの実装と商品化への挑戦

- 収集運搬から中間処理、再資源化までの一貫通貫モデル
- 専用設備によるプラスチックとアルミの高度分離と品質管理
- 資源のトレーサビリティ確保とCFP算定・環境負荷低減への寄与
- 再生樹脂(PP/PVC)の製品化と用途開発の最新動向

4. (補足)医薬品業界における資源管理・適正処理の展望

- シングルユースバックリサイクルの現状と課題
- 高薬理活性物質等に対する「安全・安心」な受入・処理体制 【質疑応答】

4. 医薬品包装の安全性試験 ～抗がん剤暴露を含めて～

[14:10～15:10]

横浜薬科大学 薬学部 准教授 博士(薬科学) 鈴木 高弘 氏

- 医療現場における医薬品包装と取り巻く環境
・医薬品包装が医療安全に与える影響
・医療従事者・患者双方の視点から見た包装の重要性
- 抗がん剤取扱いにおける曝露リスク
・医療現場での曝露事例 ・抗がん剤曝露の健康影響と対策の考え方
- 医薬品包装に求められる曝露防止機能と安全性評価試験
・包装設計と曝露リスクの関係 ・PTP包装・バイアル包装等の課題
・落下試験等による包装評価 ・曝露防止の観点からの試験方法
- 医療現場の視点から考える今後の医薬品包装設計
・患者安全と医療従事者安全の両立
・医療機関と企業の連携による包装開発 【質疑応答】

5. 医薬品包装の安全性評価 ～圧力変化漏れ試験法における実例～

[15:20～16:20]

(株)フクダ 営業部 堤 英樹 氏

- 日本薬局方(JP18参考情報)について
1.1 沿革とJP18以前の問題点
1.2 完全性評価におけるキーワード紹介 1.3 定量的試験法紹介
- JMIF 日本計量機器工業連合会規格
2.1 規格概要, 孔形状を中心に置いた、漏れ量の関係
2.2 気体漏れ量・気体拡散量・液体漏れ量式の紹介
2.3 孔から水漏れ量・気体漏れ量, 計算結果例
- 密封チャンバー法(圧力変化漏れ試験法1)実例紹介
3.1 計測原理 3.2 卓上機・全数検査機・陽性対象紹介
3.3 医薬品包装における計測事例 【質疑応答】

セミナー申込書

「医薬品包装」セミナー

No.606205

6/11

- ・申込書に必要事項をご記入の上、FAX(03-5436-7745)にてお申込みください。
- ・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名	事業所・事業部		
住所	〒		
TEL	携帯電話		
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください) [郵送(宅配便)・ショートメッセージ(SMS, 携帯電話)・e-mail]			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付, 事務処理, アフターサービスのため		・今後の新商品, 新サービスに関するご案内のため	
・セミナー開催, 運営のため講師へもお知らせいたします			



TECHNICAL INFORMATION INSTITUTE CO.,LTD.

申込専用FAX 03-5436-7745

●申込方法

- 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。
- お申し込み後はキャンセルできません。
受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

- 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。
- 定員になり次第、申込みは締切となります。